

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、10～18℃台を示し、平年並みでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり24トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり33kgの水揚げで、前週の62%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり1.4トンの水揚げで、前週の1.8倍（前年並み）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり3kgの水揚げで、前週の75%（前年並み）。壱岐勝本地区では、1日当たり24kgの水揚げで、前週の3倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり4kgの水揚げ（前年を上回った）。
- 定置網――五島有川地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり35kgの水揚げ。五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり3.1トンの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり50kgの水揚げ。対馬東岸地区では、マアジなどが1日1統当たり167kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、カマスが1日当たり81kgの水揚げで、前週の76%（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（2/15～2/19の5日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、対馬北東沖・大社沖・伊根沖で操業するも海峡悪く各地入港。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬沖～山口沖～浜田沖～隠岐海峡～山形沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）は、1日延2隻、総計56箱、1航海最高49箱、平均28箱。

スルメイカを漁獲、魚体は20入。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>